

# Jazz Interview vol.73

## ★グラミー賞 8 回受賞！ 現代ジャズ最高峰のベースマン！★ クリスチャン・マクフライド【Christian McBride】



photo by Ebru Yildiz

クリスチャンが1stリーダーアルバム『Gettin' To It』をリリースしたのは1995年。編集長がNYでウェイターをしていた時期と重なり、クリスチャンはお客さんとして時々店に来てくれていた。当時20代前半だったが、生のベース音にはど肝を抜かれた。あれから30年近くが経ち、グラミー賞を8回受賞し、現代ジャズ最高峰のベースマンに君臨し続けている。今回、コロナ明けで久しぶりの来日となり、Mack Avenue Recordsの粋な計らいで対面インタビューが実現！5月31日に51回目の誕生日を控えていたクリスチャンに、大好きなソウル・ミュージックの日本盤シングルレコードをプレゼントした。【2023年5月16日都内某所にて 取材・文：加瀬正之 取材協力&写真提供：Mack Avenue Records】

♪ 少し早いですが、誕生日おめでとうございます！5月31日に51回目の誕生日を迎えますが、現在の自分と約30年前の自分と比べてどう思いますか？

1stアルバム『Gettin' To It』をレコーディングしていた1994年頃を思うと、当時は年齢のわりにたくさん経験を積むことができたと思うよ。なぜなら、フレディ・ハバードやジョー・ヘンダーソン、マッコイ・タイナー、ボビー・ハッチャーソンなど偉大なジャズマンたち、また、ロイ・ハーグローヴやジョシュア・レッドマン、ベニー・グリーンなど同年代のジャズマンたちとも共演することができたからね。22歳にして、たくさん経験できたけど、まだ尚時間が必要なんだ。人生において何かが起きるとしても、楽器と共にできる限り成長するために自分自身を知る必要があると思うんだ。たくさん経験ができたとしても、自分自身のサウンドをよく聴くようにしているし、今も22歳の頃の自分のサウンドのように感じているんだ。

♪ ニュー・ジョーン名義での2枚目のアルバム『プライム』のリリースおめでとうございます！本誌前号でも紹介させて頂きましたが、素晴らしいアルバムでとても気に入っています！ニュー・ジョーンはあなたにとってどのようなグループですか？

このアルバムはニュー・ジョーン名義で2作目のレコーディングになるんだけど、みんないつもバンド名の意味やバンド結成の背景を聞きたがるんだ。このバンドはクリスチャン・サンズとユリシス・オーウェンス・ジュニアとのトリオとは全く違うし、これまでヴィレッジ・ヴァンガードなどに出演する際、異なるバンドやグループ、様々なミュージシャンと共演することで実験的なことを試みて来たんだ。今まではタイプの異なるバンドと一緒にまとめようとしていたんだけど、どのバンドもピアノレス、ギターレスといったコードレスではなかったんだ。そのようなバンドで実験を繰り返して、8年位の構想を経てコードレスのカルテットであるニュー・ジョーンを結成したんだ。それ以来ずっと私のメイングループだよ。

♪ 今回の来日でニュー・ジョーンでの公演や小曾根真スーパー・トリオでの公演なども行われますが、コロナ明けで久しぶりの来日公演となりましたね？

とてもハッピーだね。日本にまた来れることになったことは本

当に嬉しいね。1991年以来、これまで毎年日本に来ていたし、パンデミック前までは少なくとも30回は来日していたと思うよ。ロン・カーターやハービー・ハンコック、ルイス・ナッシュたちと比べると少ないけどね（笑）。とにかく、また来れることになったのは本当に嬉しい！

♪ グラミー賞を8回受賞されていますが、グラミー賞についてどのような思いを持っていますか？

私は決してグラミー賞を目指して音楽の世界に入って来たわけではないけど、グラミー賞を受賞できたことはとても良かったと思っているよ。私がジャズ・ミュージシャンになったのは、フレディ・ハバードやマッコイ・タイナー、ウェイン・ショーターのようなミュージシャンと共演したかったからなんだ。そのような伝説的なミュージシャンたちと共演する機会を得ることができたことが一番で、グラミー賞は嬉しいご褒美（ケーキの上のチェリー）のようなものだね。

♪ ニュー・ジョーン名義の最新のアルバム『プライム』はまたグラミー賞を獲得できると思いますよ！

わお、ありがとう！実現するか見守っていよう！（笑）私がグラミー賞を受賞したことで驚いたたくさんの人々が、私に知識やより発展したジャズのスタイルを演奏する欲望があると思って、「あなたはレイ・ブラウンのようだよ！」「あなたはスウィンガーだ！」とか言ってくれるんだけど、私はこれまでジョン・ゾーンやクレイグ・テイボーン、タイジョン・ソーリー、ロリー・アンダーソン、ロイ・キャンベルたちとも共演しているんだ。だから、このバンド＝ニュー・ジョーンはみんなをあとと言わせるようなバンドにしたいね。

♪ お父さんのリー・スミスは、フィラデルフィアで有名なベーシストと聞いていますが、お父さんについて聞かせて下さい。

父はプロとして、ほぼ50年演奏して来ているんだ。初期の頃はソウルやリズム&ブルースのグループで演奏して、ブレンダ&サ・タビュレーションズやデルフォニックス、ビリー・ポール、ブルー・マジック、メイジャー・ハリスなど、偉大なフィラデルフィアのソウル・アーティストたちと共演したんだ。彼はまた、ジャ



日本にはとてもたくさん素晴らしい思い出があるよ。本当にあり過ぎるほどね。最初に日本に来たのは、1991年にジャズ・フューチャーズとして来日した時だった。メンバーはロイ・ハーグローヴ、マーロン・ジョーダン、アントニオ・ハート、ティム・ウォーフィールド、マーク・ホイットフィールド、ベニー・グリーン、カール・アレン、プレイボーイ・ジャズ・フェスティヴァルだったね。それから、マウンド・フジ・ジャズ・フェスティヴァルでも来日したね。東京にあったキーストン・コーナーというジャズクラブを覚えているかい？そこでベニー・グリーンと出演したんだ。その頃から日本のジャズファンがどれだけ深く音楽やジャズを愛しているか実感していたけど、決して忘れることはできないね。尊敬に値するのは、日本のジャズファンの我々アメリカのジャズ・ミュージシャンに対する接し方で、アメリカでもそうあるべきだと思う。だから、多くのアメリカのジャズ・ミュージシャンたちは、日本に来て演奏することを待ち切れなと思うよ。あと、チック・コリアとチャカ・カーンに初めて会ったのも日本で、あれはマウンド・フジ・ジャズ・フェスティヴァルだったよ。このように日本には数えきれないほどのたくさん思い出があるんだ。

ズ・ミュージシャンとも演奏していて、1977年にモンゴ・サンタマリアのグループに参加して、4-5年在籍したんだ。モンゴとは数多くのレコーディングもしたね。私がエレクトリック・ベースに興味を持ち始めたのは、父がモンゴのグループで演奏しているのを見ていたからなんだ。父はモンゴのグループから脱退した後、1980年代初頭にニューヨークからフィラデルフィアに戻ったんだよ。フィラデルフィアに戻ってからは、35-40年間地元で演奏していたんだ。またツアーに出始めた時は、オディーン・ポープと演奏していたね。1980年代の中頃まではエレクトリック・ベースを弾いていたけど、その後はほぼアコースティック・ベースを弾いているんだ。今でも父はとてもハッピーに演奏しているよ。

♪ おじいさんもミュージシャンだったのですか？

祖父はミュージシャンでなかったんだけど、様々なことに親しんでいたんだ。オペラが好きだったし、ジャズは勿論、ミュージアムに行くのも好きだったね。それと、ベースボールも大好きだった。勿論、地元フィラデルフィア・フィリーズのファンだった。私が最初に貰った仕事はスタジアムでの案内係だったんだけど、祖父が私に私のために取って来てくれたんだ。祖父はフィリーズの野球と共に私を育ててくれたんだ。あと、叔父はワード・クーパーというミュージシャンでベーシストなんだよ。祖父はベースボールにぞっこんだったけど、叔父はジャズにぞっこんだった。叔父はフィラデルフィアを拠点にアコースティック・ベースを演奏して、いわゆるアヴァンギャルド・ジャズのミュージシャン、サニー・マレーやマーシャル・アレンたちと演奏したんだ。プロのミュージシャンとしての一面だけでなく、ジャズの歴史にも造詣が深かったね。彼が私にジャズの歴史、ルイ・アームストロングやチャーリー・パーカー、ホレス・シルヴァー、オーネット・コールマンからウィントン・マルサリスのことまで全て教えてくれたんだ。

♪ ラジオ番組「Jazz Night in America」のブロードキャスター、「Jazz House Kids」「Jazz ASPEN」「Open Studio」など、エドゥケーターとしても活躍され、ジャズに貢献され続けていますが、ジャズの未来についてどう思いますか？

ジャズの未来については、あまり心配はしていない。みんなそのような質問をよく投げかけるけど、それは本当の質問が、我々が好きなジャズが継続されていくのか、それとも新しいものに変わっていくのかということだからだと思うんだ。私はジャズの未来がどのようになるのか正解はないと思うし、ジャズにとって次にどんな大きなことが起きたとしても、それが何なのかはわからない。若いジャズ・ミュージシャンがヒップホップとコラボしても驚きはしないし、そのようなことは30年位前から少しずつ起こって来たことだしね。若いミュージシャンたちがコツコツと練習を重ねて、異なるタイプのサウンドに触れることでどのようなことでも起こり得ると思うよ。

♪ 何度も来日されていますが、日本での特別な思い出はありますか？

♪ 兄弟のような存在だったロイ・ハーグローヴが2018年11月2日に亡くなってしまいましたね。約4年半経ちましたが、ロイを思い出すことはよくありますか？

ロイと昨年亡くなったジョーイ・デフランセスコのことは毎日のように思い出すよ。ロイに初めて会った時もジョーイと一緒にいたんだ。だから、2人ともこの世に居なくなってしまった現実を受け入れるのはとても辛かった。12歳から17歳の頃、ジョーイとは親しい友人だったし、17歳から22歳までロイはベストフレンドの1人だったから。ロイの悲報を聞いたのは、シカゴに居る時だった。妻のメリッサ(メリッサ・ウォーカー)と電話中だったんだけど、彼女に連絡が入って「ちょっと待って!」と言ったんだ。電話はグレイス・ブレイクという彼女のベストフレンドからで、グレイスを通じてロイが亡くなったことを聞いたんだ。それから10-15分もしない内に、みんながロイのことで連絡を取り合ったんだ。

♪ 本誌のタイトルはジャズ・ベーシストのリロイ・ヴィネガーのニックネームから付けているのですが、リロイ・ヴィネガーとのエピソードはありますか？ また、同じベーシストとしてリロイ・ヴィネガーをどう思いますか？

おっ、なるほど! (笑) リロイ・ヴィネガーに会ったのは2回かな。彼が住んでいたポートランドで、ベニー・グリーンと演奏していた時だったよ。彼は本当にナイスマンだったね。もう1度はコンサートの時ではなかったと思う。彼は正にグルーヴの塊、グルーヴそのものだったよ。あと、そう、大きなホワイトアフロの髪型をしていたよね(笑)。

♪ 日本のジャズ・ミュージシャンについて聞かせて下さい。

マコト(小曾根真)は今や日本のリヴィング・レジェンドだね! (笑) サダオ・ワタナベ(渡辺貞夫)は勿論知っているし、TOKUは良い友達なんだ。ヤスシ・ナカムラ(中村恭士)は素晴らしいベーシストでミュージシャンだね。ケンゴ・ナカムラ(中村健吾)は知っている? ケンゴとは30年来的仲なんだ。彼はジューティフルマンだよ! テルマサ・ヒノ(日野皓正)とは知り合う機会がないんだけど、彼の息子マス(日野雅信)は知っているかい? マスは私のエレクトリック・ベースを何本も作ってくれた。彼はキングだよ! (笑) 彼はコメディアンになれるセンスも持っているんだ! (笑)。

♪ ベースを弾く上で一番大切なことは何ですか？

マインドセットだね! ベースを弾く上でとても大切なことは、その音楽が必要としていることは何かしっかり理解すること。これはベースに限らず、いかなる楽器でも言えることだと思う。最近の多くのベーシストに見受けられるのは、信じられないくらい創造的で派手な演奏なんだけど、そのような演奏をしているバンドに雇われなと思うよ(笑)。バンドに雇われて、凄くミュージシャンと共演して、お金を稼ぎたいなら、グルーヴを出すことを学ばなければいけないと思うよ。

♪ 今注目している若手のベーシストはいますか？

ああ、たくさんいるよ！ フィリップ・ノリス (Philip Norris) は本当に素晴らしい若いベーシストだよ。若手とは言えないかもしれないけど、アレキサンダー・クラフフィー (Alexander Claffy) も素晴らしいベーシストだね。ニューアーク出身の若手女性ベーシストのリアニ・マテオ (Liany Mateo) もいいね。

♪ 個人的にベースを教えている生徒や弟子などはいますか？

いや、いないよ。個人的に教えてはいないんだ。

♪ メインで弾いているアコースティック・ベースは、今もチェコスロバキア製のジュゼックですか？

いや、もうジュゼックは弾いていないんだ。何年も前に手放したよ。今、メインで使っているアコースティック・ベースはダークな色合いのドイツ製だよ。レイ・ブラウンが弾いていたベースも持っているんだ。あと、オーストラリア製のベースだね。今はこの3台のアコースティック・ベースを持っている。それと、トラベル用のベースだね。

♪ あなたの作品をリリースしているマック・アベニュー・レコードについて聞かせて下さい。

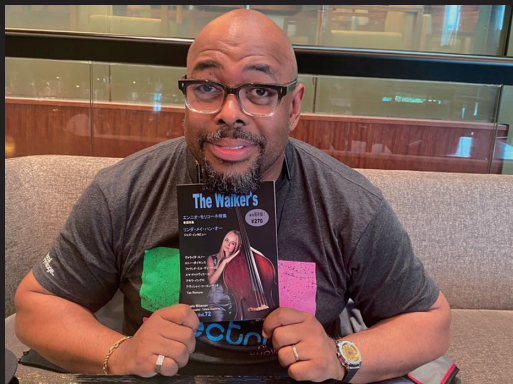
彼らは大好きさ！ 今年でマック・アベニューと契約してからちょうど15年になるんだ。私自身のレーベルは“ブラザー・ミスター”も持たせてくれているし、とても誇りに感じているよ。

♪ あなたは大のベースボールファンと知っていますが、ロサンゼルス・エンゼルスで活躍している大谷翔平選手をどう思いますか？ また、お気に入りの選手は誰ですか？

大谷はマシーンみたいだよ。彼のような凄い選手は今まで見たことがない。最近のメジャーリーグの選手はあまり詳しくは知らないけど、ビート・ローズを彷彿とさせるホセ・アルトゥーベやマイク・トラウトも好きだね。日本人の選手では、野茂英雄や松井秀喜はよく覚えているよ。そして、イチローは忘れてはいけない偉大なバッターだね。子供の頃に好きだった選手はマイク・シュミット。その他にも好きな選手がいて、ケン・グリフィー・Jr. やデレク・ジーター、バーニー・ウィリアムスは今では仲の良い友達で彼はギタリストでもあるんだ。

♪ ボクシングも好きでトレーニングもしていましたよね？

ボクシングは2009年から2011年頃までやっていたけど、実際に闘うのではなく、体型を維持するためにやっていたんだ。またトレーニングしなければと思っ、つい最近ヘビーバッグ(サンドバッグ)を買って家に吊るしたところなんだ(笑)。その他、スピードバッグや縄跳びも揃えたんだ。好きなボクサーはアリ！ 文句なしにモハメッド・アリだね。マーヴィン・ハグラも好きだった。マーヴィン・ハグラーとはイタリアで会ったんだよ。彼はジャガー・レイ・レナードとの一戦の後にイタリアに住んでいて、私のコンサートに来てくれたんだ。あの時は感動したね。



♪ 音楽以外の趣味はありますか？

スポーツかな(笑)。ミュージシャンで結成しているソフトボール・チームに入っていたんだ。あと、コロラドで毎年行われるジャズ・キャンプで教えているんだけど、先生たちでフラッグフットボール・ゲームをしているんだ。それと、エッセイを書くことかな。幾つかのエッセイはメディアに出ているんだ。フィラデルフィア・イーグルスについて書いた2つの記事もメディアに出たんだけど、信じられなかったよ。

♪ 夢や目標について聞かせて下さい。

より優れたコンポーザーになりたい。昨年、初めてオーケストラの楽曲を書くチャンスがあったんだ。まあまあで最高とは言えなかったんだけど、少なくとも感触を掴める良い機会にはなったね。ラージ・アンサンブルの曲を書けるコンポーザーになりたいね。ヴィンス・メンドーザやマリア・シュナイダーのように良い曲を書きたいんだ。

♪ ビッグバンドのアルバムのリリース予定はありますか？

勿論！ 既に次のビッグバンドのアルバムの制作に取り掛かっていて、5曲はレコーディング済みだよ。曲毎にシンガーが参加する予定で、全部で12曲、12人のシンガーを予定しているんだ。リリースはいつになるかわからないけど、来年辺りかな。今年中には全てのレコーディングを終えたいと思っているよ。

♪ 最後に「The Walker's」読者と日本のファンにメッセージをお願いします。

日本に戻って来ることができてとても嬉しい。これからたくさん来日できることを願っているよ。それと、アメリカの人々が日本の文化をたくさん学ぶべきと思っているんだ。だから、私も日本に来る度にできる限り日本のことを学んで、アメリカに持ち帰りたいと思っているんだ。日本のみんなを愛しているよ！

## クリスチャン・マクブライド サイン入りCDプレゼント！



- ①お名前
- ②フリガナ
- ③Eメール
- ④住所
- ⑤郵便番号
- ⑥電話番号
- ⑦性別
- ⑧年齢
- ⑨クリスチャンに一言
- ⑩ The Walker's に一言

\* 当選はEメールでのご連絡をもって代えさせていただきます。

上記①～⑩と件名に「CM サイン入りCDプレゼント応募」と記載頂き、[thewalker@k07.itscom.net](mailto:thewalker@k07.itscom.net)宛てにご連絡願います。

## 【クリスチャン・マクブライド 公式ウェブサイト】 <https://www.christianmcbride.com>



『プライム』  
クリスチャン・マクブライド・  
ニュー・ジョーン

Brother Mister Productions  
BRO-4004  
2023.2.24 発売

クリスチャン・マクブライドの最新アルバム！